

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

| | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|--|
| 団体名 | 一般社団法人 ReRoots | |
| 代表者名 | 二木洗行 | |
| 連絡先 TEL : 080-2447-2112 FAX : | E-mail : reroots311@yahoo.co.jp | |

1、助成事業報告

| | |
|-----------|---|
| 助成を受けた事業名 | 仙台市若林区東六郷地域における高齢者の生きがいづくり |
| 事業の目的 | <p>地域内の高齢化率が42%を超え、深刻な高齢化に直面している若林区六郷東部地域において</p> <p>①福祉調査活動 ②シニアスポーツ大会 ③手芸サロンづくり ④福祉ワークショップ</p> <p>などの事業を実施し、高齢者が生き生きと暮らすことのできる地域づくりを目指す。</p> |
| 事業の具体的内容 | <p>①福祉調査活動 高齢者独居または二人暮らしの家庭（約20世帯）を対象に年3回、ReRootsの学生ボランティアが訪問調査を行う。高齢者が抱えている日常の困りごとや体調面での問題、今後の悩みや不安を継続的に聞き取りながら把握する。調査した内容は住民一人一人の福祉カルテを作成する。2017年から実施している取り組みであり、初年度は六郷東部地域約200世帯の全戸調査と、高齢者の独居または二人暮らしの家庭は特定できている。継続した訪問の実績もある。独居や二人暮らしの家庭では、地域行事への参加も少なく、孤立化している中で、学生が訪問すること自体が高齢者の楽しみになっており、孤立の防止と見守り活動にもなっている。さらに、福祉カルテとして、調査した内容は地区の社協や行政、福祉施設に共有して、対策の検討と今後の地域福祉づくりに向けたネットワークづくりを進める。訪問での調査は高齢者の見守りにもなる。8月、11月、3月頃に実施し、年に1回総括を行って次年度以降の蓄積とする。</p> <p>②シニアスポーツ大会 ボッチャ等のシニアが楽しく運動できるスポーツを用いて年2回企画を開催する。①の福祉調査によって高齢者にとって体を動かすことで健康を維持したいと言うニーズが非常に高いことが発見された。高齢者が運動することで介護予防に繋がるし、</p> |

楽しみながら運動することで住民同士の交流を生み出すことにも繋がる。7月に開催し、ポッチャ、モルック、健康体操等のシニアスポーツを準備して40から50名の参加を見込む。会場は六郷東部地域の集いの場となっている東六郷コミュニティ広場で行い、事前に各家庭へのチラシのポスティングや町内会と連携してポスターの掲示をして企画の広報を行う。スポーツ大会の後には、地域の食材を用いたお菓子などをふるまって住民の交流も促す。2022年度に二回の企画を開催したら、地元の町内会や老人会で実施の希望を募って住民自身が企画、運営していくように移行していく。最初は ReRoots が運営に入りながら町内会や老人会のサロンに出向き、住民の中に根付いたものになれば地域主体で取り組めるように移行していく。

③手芸サロンづくり

高齢者が趣味としている手芸で月一回のサロンを開催し、制作物は当団体が運営するアンテナショップで販売する。住民の中には小物づくりや押し花を趣味としている方や農村ならではの稲わら文化を継承している方も多い。ただ、現在は個人的な趣味になっていたり、稲わら文化が衰退している中で地域に埋もれてしまっていたりするものが現状である。そこで、こうした住民を講師として地域内で手芸に取り組むサロンを月一回開催する。具体的には、地域の集会場に住民が集まって押し花や小物づくりに取り組む。この運営を ReRoots が協力して周りの地域住民への呼びかけも行い、サロンづくりを支えていく。各会5名前後の住民を集めていく。一方で、趣味として取り組んでいる住民としては、作ったものをイベントで販売するが、継続して販売する機会はない。ReRoots が運営しているお店「仙台いも工房るぼて」において展示、販売する。仙台いも工房るぼては、復興プロジェクトから発展して出来たスイートポテトのお店であり、若林区沿岸部のアンテナショップとして若林区沖野で週五回営業している。ここで、住民のサロンで作った小物や押し花を販売すれば、その売り上げをサロンの運営や参加者の小遣い稼ぎとして還元できるように進めていく。2022年度では、7月までの間に住民との準備を重ねて、8月以降にサロンの開催や展示販売が出来るように進める。

④福祉ワークショップ

高齢化による課題と、今後の取り組みの意見交換を年2回開催することで、住民主体の地域福祉活動を生み出す。高齢者の悩みとしては移動困難や健康面での不安、住民の繋がり希薄化、食事への不安が大きい。将来的には、コミュニティーカーの導入や会食サービスの提供といった地域の福祉活動が必要だが、急激な過疎化、高齢化に見舞われたことで、自身で衰退している地域の状況に諦めてしまっている住民の方が多い。そこで、福祉ワークショップでは、こうした共通の悩みを共有することと今後の地域福祉の展望を打ち出す中で住民の諦めから期待や意欲を引き出し、地域福祉づくりへの世論づくりを進める。既に、町内会の会長や地域の民生委員といったメンバーは問題意識を持っているので、どのようにアプローチするのかを協議して、地域の力を引き打しながら、福祉づくりの動きをつくっていく。ワークショップでは悩みごとの共有をしたり、移動支援の取り組みを提案したりして住民の議論を促していく。

| | |
|-----------------------|---|
| <p>活動の開始から完了までの流れ</p> | <p>①福祉調査活動 2月 調査</p> <p>②シニアスポーツ大会 5月～6月 企画準備 7月 第一回スポーツ交流会 8月 企画後のあいさつ回り</p> <p>③手芸サロンづくり 8月 中止 9月 中止 11月 第一回手芸サロン 12月 第二回手芸サロン 1月 第三回手芸サロン 2月 第四回手芸サロン 3月 第五回手芸サロン</p> <p>④福祉ワークショップ 8～9月 企画準備 10月 第一回福祉ワークショップ 12月～1月 企画準備 2月 第二回福祉ワークショップ</p> |
| <p>活動の成果と教訓</p> | <p>①福祉調査活動 2022年度3月～5月に行った第一回の調査の結果から地域の課題として地域内の移動が大きな課題として明らかになったため2月に地域内の移動の実態などについて第一回の調査において移動問題を不安視する回答のあった住民を中心に17件の回答が得られた。</p> <p>②シニアスポーツ大会 新型コロナウイルスの感染拡大の影響も受け、当初見込んでいたほどの参加者数は得られず、参加者数は18名に留まったものの参加した住民からはこのような集まりの重要性について理解を示す声は多く聞かれ、またシニアスポーツを通して体を動かすことや住民同士の交流を楽しんでいた。</p> <p>③手芸サロンづくり 各回10人前後参加し、延べ参加者数は48名ほどであった。今年度の企画においては制作物の販売にまではこぎつけられなかったもののこれまで当団体の企画に参加されてこなかった新規の参加者数が増加したり、企画後のアンケートや企画内の反応からもこういった集まりの場を求める声が聞かれた。</p> <p>④福祉ワークショップ 全2回行い延べ参加者数は16名であった。第一回では住民の地域に対する思いや今後の不安、問題意識などを深めることができた。第二回ではテーマを移動問題とし、地域の現状についての把握と今後の地域交通のシステムをどうしていくべきかを議論し、住民自身の地域福祉の世論形成の流れが作られた。</p> |
| <p>今後の展望など</p> | <p>①福祉調査活動 今回の調査結果から地域内の移動について来年度以降は行政や地域内の他事業者などと連携し、より大規</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>模に地域内において調査を行い移動問題だけでなく地域福祉におけるコロナウイルスの感染拡大の影響や、住民自身の意向を調査し、地域に合った形の地域福祉形成に向けて取り組む。</p> <p>②シニアスポーツ大会 成果にもある通り、今年度の企画においてこういった集まりの重要性について理解を示す声が多く聞かれた。 次年度以降は今年度の企画に参加した住民を中心に企画に立案や地域内における広報などから運営に巻き込む中で住民主体の聞かうとなるようにシフトしていく。</p> <p>③手芸サロンづくり 今年度の企画において地域ごとの単位で一定集まりとしては作られた。 次年度以降は今回の企画においてあまり集まりの良くなかった地域を中心に企画を行っていく。</p> <p>④福祉ワークショップ 今年度の企画においては主に移動問題について世論の形成が行われた。次年度以降は引き続き移動問題について扱い続けつつ、身の回りの困りごとについてや、老後の介護予防などその他の地域課題についても世論形成を行っていく。</p> |
|--|--|

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

| 確保した資金内容 | 金額 (円) | 備考 |
|-----------------|--------|----|
| 福祉活動助成金 | 300000 | |
| 交益信託オオバまちづくり助成金 | 94105 | |
| 合計 | 394105 | |

■ 支出の部

| 費目 | 内容 | 予算額 (円) | 実支出額 |
|-------|-------------|---------|--------|
| 交通費 | メンバー交通費 | 73600 | 82700 |
| 通信費 | 書類印刷代 | 5000 | 4504 |
| 印刷製本費 | 企画広報用チラシ印刷代 | 86000 | 102352 |
| 備品費 | 高齢者スポーツ備品代 | 50000 | 59400 |
| 消耗品費 | 手芸サロン消耗品費 | 63000 | 57116 |
| | 福祉 WS 消耗品費 | 13000 | 7289 |

| | | | |
|-----|-------------------|--------|--------|
| | スポーツ交流会消耗品費 | 3000 | 2966 |
| | 福祉調査消耗品費 | 10000 | 4578 |
| 借用料 | 企画に向けた検討会議を行う会議室代 | 72000 | 63700 |
| | 企画会場借用料 | 6000 | 9500 |
| 合計 | | 381600 | 394105 |

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3、送付必要書類

- ① 福祉活動助成金 助成活動報告書
プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。
- ② 領収書のコピー（郵送）
- ③ 成果物（活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送）
*写真は郵送とメールで送ってください。

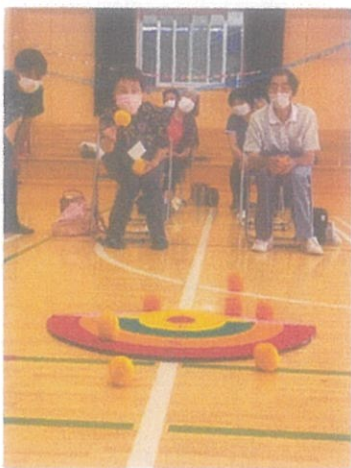
2022年度 下期 みやぎ生協福祉活動助成金
活動の様子

②シニアスポーツ大会

企画内において住民同士が交流する様子



企画内において住民考案のスポーツを楽しむ様子



③手芸サロンづくり

第一回手芸サロンの様子



第三回手芸サロンの様子



第四回手芸サロンの様子



④福祉ワークショップ

第一回福祉ワークショップの様子



第二回福祉ワークショップの様子

